

各 位

一般社団法人 日本経済調査協議会
専務理事 杉 浦 哲 郎

日経調「年金リテラシー研究会」シンポジウム開催のご案内
若者に伝えるべき公的年金制度の原理 —彼らの将来の生活の視点から—

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

我が国の公的年金は、「破綻する」、「百年安心という嘘がまかり通っている」、「世代間の不公平が甚だしい」等の、ネガティブな評価を受けることが多くなっています。しかし、既に公的年金の給付総額は年に約 50 兆円と、GDP の約 1 割、個人消費の 2 割を超える規模に達し、公的年金制度抜きの日本社会はもはや考え難いと言っても過言ではありません。

このようなネガティブな評価は、どこから生じ、また、そうした評価を次の世代に受け継ぐことが適当なのでしょうか。「年金リテラシー研究会」では、約 2 年間の議論を経て、次の世代にいたずらにネガティブなイメージを植え付けるのではなく、公的年金は、①貯蓄性の金融商品ではなく自分自身及び親の「長生きリスク」に対処するための保険である、②世代間扶養を社会的に行うために国民所得の世代間の配分を変える仕組みである、という賦課方式年金の「原理」を明確にし、これを次の世代にクリアに説明することこそ必要、という結論に至りました。

こうした議論の成果を発表する一つ的手段として、10月26日(月)に下記の通りシンポジウムを開催することといたしましたので、ご案内申し上げます(プログラムの詳細は別紙リーフレットをご参照)。

ぜひ万障お繰り合わせの上ご出席賜りますよう、お願い申し上げます。お申し込みは FAX または E-mail にてお願いいたします。複数名でのご参加も可能です。なお、定員を超えた場合には、先着順とさせていただきます。

敬具

記

1. 日 時：2015 年 10 月 26 日 (月) 13 時 30 分～16 時 30 分 (13 時 開場)
2. 会 場：サントリーホール ブルーローズ (小ホール)
東京都港区赤坂 1-13-1
3. タイトル：「若者に伝えるべき公的年金制度の原理 —彼らの将来の生活の視点から—」
4. 定 員：約 300 名 (申込先着順)
5. 入 場 料：無 料
6. お申込み方法：FAX または E-mail (別紙リーフレット裏面ご参照)
7. お問い合わせ先：
日本経済調査協議会「年金リテラシー研究会」事務局 (担当：前沢 石川)
TEL:03-3442-9400 FAX:03-3442-9403 E-mail: cjeri@nikkeicho.or.jp (事務局)
<http://www.nikkeicho.or.jp> (日経調 HP) にも掲載しています。

以上

日経調「年金リテラシー研究会」シンポジウム
(第155回セミナー)

若者に伝えるべき公的年金制度の原理 —彼らの将来の生活の視点から—

2015年

10月26日 月 13:30-16:30

(13時開場)

入場無料
定員300名

会場：サントリーホール ブルーローズ (小ホール)

お申込はFAXまたはE-mailにて
(裏面参照)

第一部

13:30～14:40 基調講演

「年金報道の変遷 — 一線記者による回顧 —」

講師：太田啓之 朝日新聞東京本社GLOBE編集部 記者

「公的年金の原理 — 『長生きリスク保険』と世代間扶養 —」

講師：玉木伸介 大妻女子大学短期大学部 教授、年金リテラシー研究会 主査

14:40～15:20 パネルディスカッション

「若者の目に映る年金制度 — いかに若者に語りかけるか —」

パネリスト：高橋 亘 大阪経済大学経済学部 教授

出口治明 ライフネット生命保険 会長兼CEO

中村洋一 法政大学理工学部 教授

モデレーター：玉木伸介 大妻女子大学短期大学部 教授

～休憩～

第二部

15:40～16:30 公民科教員による「年金」模擬授業

「高校生のみんなへ！— 今考えて欲しい『長生きリスク』と
セーフティネット, そして『支え合う社会』を —」

講師：梶ヶ谷穰 昭和音楽大学・短期大学部 非常勤講師
元神奈川県立海老名高等学校 教諭

主催：一般社団法人 日本経済調査協議会 (日経調)
後援：厚生労働省

お問い合わせ：日本経済調査協議会「年金リテラシー研究会」事務局 担当：前沢、石川
TEL:03-3442-9400 FAX:03-3442-9403 E-mail:cjjeri@nikkeicho.or.jp

申し込み宛先

FAX:03-3442-9403 (下記、ご連絡必要事項をご記入のうえ、お送りください)

E-mail:cjeri@nikkeicho.or.jp (下記、ご連絡必要事項をお知らせください)

日本経済調査協議会「年金リテラシー研究会」事務局

事前申し込みのうえ、本申込書 または 送信メールを当日受付にお渡しください

参加申込書

日経調「年金リテラシー研究会」シンポジウム
若者に伝えるべき公的年金制度の原理 — 彼らの将来の生活の視点から —

日 時 : 2015年10月26日 (月) 13時30分~16時30分 (13時開場)

会 場 : サントリーホール ブルーローズ (小ホール)

ご連絡必要事項

貴社・団体名 :

ご所属・お役職 :

ふりがな
ご 芳 名 :

ご 連 絡 先 TEL :

FAX :

※複数名でのご参加も可能です。

※定員を超えた場合にはその旨ご連絡いたします。

※ご記入いただいた個人情報は、当該シンポジウムに関する連絡・記録のために使用するものです。



ACCESS

サントリーホール

住所 : 東京都港区赤坂1-13-1

電話 : 03-3505-1001 (代表)

<電 車>

東京メトロ銀座線

「溜池山王駅」13番出口 (改札より徒歩約7分)

東京メトロ南北線

「溜池山王駅」13番出口 (改札より徒歩約10分)

東京メトロ南北線

「六本木一丁目駅」3番出口 (改札より徒歩約5分)

<バ ス>

都営01系統バス (渋谷~新橋)

渋谷駅前行「赤坂アークヒルズ」下車 (徒歩約2~3分)

新橋駅前行「赤坂アークヒルズ前」下車 (徒歩約2~3分)

事務局使用

⑤